

(様式第9)

滋医大病 2-0-2号  
平成 21年10月 1日

厚生労働大臣 殿

滋賀医科大学医学部附属病院  
病院長 柏木 厚

滋賀医科大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	医科 64.2人	歯科 7.5人
--------	----------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照 (様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照 (様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	197人	120.9人	317.9人	看護業務補助	5人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	4人	7人	11人	理学療法士	10人	臨床検査 衛生検査	臨床検査技師 33人
薬 剤 師	21人	6.5人	27.5人	作業療法士	5人		衛生検査技師 1人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人		そ の 他 0人
助 産 師	13人	2人	15人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	488人	41.2人	529.2人	臨床工学技士	5人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	1人	そ の 他 の 技 術 員	3人
歯科衛生士	1人	1人	2人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	48人
管理栄養士	5人	3人	8人	診療放射線技師	25人	そ の 他 の 職 員	23人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	465.2人	5.0人	470.2人
1日当たり平均外来患者数	1210.9人	47.3人	1258.2人
1日当たり平均調剤数	981.6剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
・高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	人
・凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白質の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・CTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	139人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝部分切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ <sup>31</sup> P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケカルフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
・神経芽腫のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
・膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
・悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザ冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・超音波骨折治療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	人
・X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	人
・膀胱水圧拡張術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下直腸固定術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨移動術による関節温存型再建	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	7人
・自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性難聴の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・RET遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・角膜ジストロフィの遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
・強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・マイクロ波子宮内膜アブレーション	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
・抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
・大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術支援	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block (MAB) 治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・副甲状腺内活性型ビタミンD (アナログ) 直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡補助下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	23人	・モヤモヤ病（ウイルス動脈輪閉塞症）	10人
・多発性硬化症	19人	・ウェゲナー肉芽腫症	4人
・重症筋無力症	30人	・特発性拡張型（うっ血型）心筋症	75人
・全身性エリテマトーデス	96人	・多系統萎縮症	21人
・スモン	2人	・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	2人
・再生不良性貧血	21人	・膿疱性乾癬	7人
・サルコイドーシス	38人	・広範脊柱管狭窄症	10人
・筋萎縮性側索硬化症	14人	・原発性胆汁性肝硬変	32人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	42人	・重症急性膵炎	7人
・特発性血小板減少性紫斑病	47人	・特発性大腿骨頭壊死症	45人
・結節性動脈周囲炎	13人	・混合性結合組織病	14人
・潰瘍性大腸炎	324人	・原発性免疫不全症候群	0人
・大動脈炎症候群	10人	・特発性間質性肺炎	4人
・ビュルガー病	5人	・網膜色素変性症	17人
・天疱瘡	13人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	26人	・原発性肺高血圧症	2人
・クローン病	127人	・神経線維腫症	11人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	6人	・バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	56人	・特発性慢性肺血栓栓症（肺高血圧型）	0人
・アミロイドーシス	4人	・ライソゾーム病（ファブリー【Fabry】病）含む	3人
・後縦靭帯骨化症	53人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	4人		

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週一回を原則としている。	
剖検の状況	剖検症例数 32 例	剖検率 14 %

## 1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
イオンチャネル病としての遺伝性不整脈の遺伝型・表現型関連の研究	堀江 稔	循環器内科	4,400	補委 文部科学省科学研究費補助金
循環器疾患におけるイオンチャネル病に関する研究	堀江 稔	循環器内科	1,100	補委 文部科学省科学研究費補助金
致死性遺伝性不整脈疾患の遺伝子診断と臨床応用	堀江 稔 (分担)	循環器内科	3,500	補委 厚生労働科学研究費補助金
虚血性心疾患でのLp-PLA2濃度・活性・遺伝子多型と冠動脈プラーク組成の検討	山本 孝	循環器内科	1,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
統合的人体シミュレーションを目指したパーソナル心臓の機能モジュール化の研究	芦原 貴司 (分担)	循環器内科	500	補委 文部科学省科学研究費補助金
スパイラル・リエントリーの抜錨による致死性不整脈防止技術の開発	芦原 貴司 (分担)	循環器内科	300	補委 文部科学省科学研究費補助金
SCN5A遺伝子異常陰性のブルガダ症候群における遺伝子異常の同定と機能解析	伊藤 英樹	循環器内科	1,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
慢性閉塞性肺疾患の発症機序と体格に関する研究一画像解析と遺伝子多型解析の融合一	中野 恭幸	呼吸器内科	450	補委 文部科学省科学研究費補助金
GOPDのphenotypingに関する包括的研究	中野 恭幸	呼吸器内科		補委 文部科学省科学研究費補助金
インターロイキン22を標的とした炎症性腸疾患に対する分子標的療法確立の基礎検討	安藤 朗	消化器内科	700	補委 文部科学省科学研究費補助金
小腸粘膜上皮の脂肪酸直接刺激によるクローン病免疫応答異常の解明	辻川 知之	消化器内科	1,400	補委 文部科学省科学研究費補助金
循環器疾患等総合研究事業：「2型糖尿病患者のQOL、血管合併症及び長期予後改善のための前向き研究(JDC Study)」	柏木 厚典	内分泌代謝内科	300	補委 厚生労働科学研究費補助金
メタボリックシンドロームにおけるアディポサイトカイン発現調節機構の解明	前川 聡	内分泌代謝内科	1,400	補委 文部科学省科学研究費補助金
ヒト肝SREBP-1c遺伝子発現を調節する新しい核蛋白の同定とその機能解析	西尾 善彦	内分泌代謝内科	1,500	補委 文部科学省科学研究費補助金
メタボリックシンドロームにおける脂肪細胞肥大化分子AP2βの役割	卯木 智	内分泌代謝内科	1,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
血糖コントロールの是正および糖尿病性血管合併症と血小板機能との関連を解明する	貴志 明生	内分泌代謝内科	1,600	補委 文部科学省科学研究費補助金
ミトコンドリアバイオジェネシスを介した新規糖尿病治療法の探索	森野 勝太郎	内分泌代謝内科	1,100	補委 文部科学省科学研究費補助金
マクロファージにおける抗老化分子SIRT1の糖尿病発症における役割の解明と新規治療薬の開発の試み	吉崎 健	内分泌代謝内科	500	補委 日本糖尿病財団 平成20年度研究助成金
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験	前川 聡	内分泌代謝内科	2,300	補委 J-DOIT3(糖尿病合併症を抑制するための介入試験)
メタボリック症候群における腎障害発症機構の解明	出路 奈緒子	腎臓内科	200	補委 第25回滋賀医科大学シンポジウム審査員特別賞
メタボリック・シンドローム関連疾患における個別化医療の実現(新規2型糖尿病関連遺伝子の同定と機能解析)	前川 聡	内分泌代謝内科	1,500	補委 文部科学省研究振興局長
標的細胞へのピンポイント遺伝子輸送システムの開発	山川 勇	神経内科	2,000	補委 平成20年度教育改善推進費(学長裁量経費)
運動による骨格筋トレーニング効果・糖代謝改善効果におけるmicroRNA(miRNA)の役割	森野 勝太郎	内分泌代謝内科	1,000	補委 日本糖尿病財団 平成20年度研究助成金

## 1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
インスリン抵抗性に伴う細胞内脂肪蓄積・ミトコンドリア異常の分子機構を解明する	森野 勝太郎	内分泌代謝内科	1,000	補委 第17回(平成)20年度小野医学研究財団奨励助成金
インスリン抵抗性に対する魚食介入の有効性及び分子機構の検討	森野 勝太郎	内分泌代謝内科	1,000	補委 三井生命厚生事業団2008年度医学研究助成
インスリン抵抗性発症におけるミトコンドリアバイオジェネシス遺伝子の役割	森野 勝太郎	内分泌代謝内科	2,000	補委 第26回(平成20年度)持田記念研究助成金
インスリン抵抗性とミトコンドリア機能異常-原因遺伝子の同定とその作用メカニズム	森野 勝太郎	内分泌代謝内科	1,000	補委 医科学応用研究財団平成20年度調査研究助成金
ミトコンドリアバイオジェネシスを介したインスリン抵抗性治療の開発	森野 勝太郎	内分泌代謝内科	1,000	補委 日本イーラリリー教育・研究助成金
メタボリックシンドロームに対するミトコンドリアバイオジェネシス・microRNA(miRNA)を介した新規治療法の探求	森野 勝太郎	内分泌代謝内科	1,500	補委 東京生化学研究会平成20年度研究奨励金
ミトコンドリアバイオジェネシスを介した新規糖尿病治療の探索	森野 勝太郎	内分泌代謝内科	3,000	補委 第40回(2008年度)内藤記念科学奨励金
高齢者の糖尿病・脂質異常症に対する魚食指導の臨床的意義-アディポネクチンを介したアプローチの試み	森野 勝太郎	内分泌代謝内科	1,000	補委 大阪ガスグループ福祉財団研究・調査助成
抗老化分子SIRT1活性化によるミトコンドリア異常の改善を目標とした慢性腎臓病への治療応用の可能性	久米 真司	腎臓内科	500	補委 CKD AWARD 2008
抗老化分子SIRT1活性化によるミトコンドリア機能異常の改善を標的とした加齢腎病変に対する新たな治療戦略の可能性	久米 真司	腎臓内科	500	補委 第14回分子腎臓研究会研究奨励賞
抗老化分子SIRT1活性調節による腎障害抑制への可能性の検討	久米 真司	腎臓内科	800	補委 文部科学省科学研究費補助金
再発小児固形腫瘍に対する塩酸ノギテカンとイホスファミド併用療法の第I/II相臨床試験	多賀 崇	小児科	500	補委 厚生労働科学研究費補助金
「難治性小児悪性固形腫瘍に対する塩酸イリノテカンの第I-II相試験」の実施に関する研究(CCT-C-1653)	多賀 崇	小児科	1,000	補委 平成20年治験推進事業
遺伝性非抱合型高ビリルビン血症の遺伝的背景の解明と診断基準の作成	丸尾 良浩	小児科	1,300	補委 文部科学省科学研究費補助金
乾癬における転写因子GLISの働き及びそのNOTCHシグナルへの影響について	中西 元	皮膚科	1,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
マイクロ波応用手術支援機器と手術システムの臨床応用	谷 徹	消化器外科 乳腺・一般外科	68,770	補委 科学技術振興機構
リアルタイムMRIナビゲーションを利用した乳癌低侵襲治療システムの確立	清水 智治	消化器外科 乳腺・一般外科	700	補委 文部科学省科学研究費補助金
乳管ネットワークを利用した、低侵襲乳癌治療法の開発と評価	村田 聡	消化器外科 乳腺・一般外科	800	補委 文部科学省科学研究費補助金
体腔鏡手術ロボティクス技術の開発研究	谷 徹	消化器外科 乳腺・一般外科	25,545	補委 文部科学省 都市エリア産学官連携促進事業
リンパ管浮腫に対する細胞移植療法の基礎的検討	塩見 尚礼	消化器外科 乳腺・一般外科	1,200	補委 文部科学省科学研究費補助金
アディポネクチンによる新しい敗血症の治療法の開発	山本 寛	消化器外科 乳腺・一般外科	2,300	補委 文部科学省科学研究費補助金
マイクロ波熱凝固による癌局所療法からin vivo樹状細胞ワクチン療法への展開	川口 晃	消化器外科 乳腺・一般外科	1,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
MR画像ガイド肝腫瘍凝固治療のための変形を伴う4次元CT画像自動位置合わせ法	来見 良誠 (共同)	消化器外科 乳腺・一般外科	200	補委 文部科学省科学研究費補助金

## 1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元	
心筋内レーザー血管新生術(TMLR)に関する研究	浅井 徹	心臓血管外科	1,798	補 委	学長裁量経費
モザイク生体弁の調査	浅井 徹	心臓血管外科	535	補 委	日本メドトロニック株式会社
HIF-1を標的とした癌分子標的治療法の開発に関する基礎研究	寺本 晃治	呼吸器外科	1,200	補 委	文部科学省科学研究費補助金
濃度勾配コラーゲンによる関節軟骨欠損修復に関する研究	松末 吉隆	整形外科	1,500	補 委	文部科学省科学研究費補助金
随意的な骨形成誘導を可能にする前骨芽細胞増殖促進、アポトーシス抑制メカニズムの解析	森 幹士	整形外科	2,000	補 委	上原記念生命科学財団研究助成金
骨肉腫に発現している破骨細胞分化因子受容体(RANK)を利用した骨肉腫に対する新規治療法開発の試み	森 幹士	整形外科	450	補 委	(財)金原一郎記念医学医療振興財団研究助成金
未破裂脳動脈瘤の治療指針と個別意思決定に関する研究	野崎 和彦	脳神経外科	6,500	補 委	国立循環器病センター
ヒト腎細胞癌でマイクロRNAに制御される標的遺伝子と遺伝子ネットワークの検討	岡田 裕作	泌尿器科	1,700	補 委	文部科学省科学研究費補助金
散在性反復配列(利的遺伝子)の脱メチル化による新たなヒト精巣腫瘍発癌モデルの構築	岡本 圭生	泌尿器科	5,400	補 委	文部科学省科学研究費補助金
間質性膀胱炎に関する自己抗体の研究	成田 充弘	泌尿器科	1,300	補 委	文部科学省科学研究費補助金
尿路上皮癌診断マーカー尿中カルレティキュリンテストの開発	影山 進	泌尿器科	1,300	補 委	文部科学省科学研究費補助金
尿路上皮癌におけるPeriostinによる浸潤・転移抑制の分子機構の解明	金 哲将	泌尿器科	1,500	補 委	文部科学省科学研究費補助金
カニクイザルにおけるアバステン硝子体内注射前後での前房水中のVEGF濃度変化の検討	大路 正人	眼科	2,500	補 委	滋賀医科大学教育改善推進費
インドシアニングリーンとフェムト秒レーザーによる光線力学療法の開発	大路 正人	眼科	600	補 委	文部科学省科学研究費補助金
脈絡膜上経網膜電気刺激(STS)法による人工視覚システムの臨床応用	大路 正人	眼科	2,000	補 委	厚生労働省科学研究費補助金
核磁気共鳴スペクトロスコピーを用いた慢性疼痛の高次脳機能評価法の確立	福井 聖	ペインクリニック科	1,600	補 委	文部科学省科学研究費補助金
Dekompressor(経費的髄核摘出術用プローブ)を用いた臨床評価	新田 一仁	ペインクリニック科	286	補 委	日本ストライカー株式会社
じん肺健康診断におけるエックス線デジタル撮影画像の活用に関する研究	村田 喜代史	放射線科	10,000	補 委	厚生労働省科学研究費補助金
フラットパネルデテクタを用いた胸部座位型超低線量CTの研究	高橋 雅士	放射線科	500	補 委	文部科学省科学研究費補助金
薬剤性肺障害ウサギモデルを用いた病理組織とCT画像の対比	永谷 幸裕	放射線科	2,300	補 委	文部科学省科学研究費補助金
がん診療を標準化するための病理診断基準確立に関する研究(消化管癌の検討)	九嶋 亮治	病理学	1,000	補 委	厚生労働省がん研究助成金(国立がんセンター)
がん抑制遺伝子RB1CC1のシステム破綻による発がん機構とその制御	茶野 徳宏	臨床検査医学講座	6,300	補 委	文部科学省科学研究費補助金
消化管及び膵臓カルチノイド腫瘍における神経系中間径線維の発現様式と悪性度の検討	石田 光明	検査部	500	補 委	文部科学省科学研究費補助金



## 1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元	
乳癌治療の成績を改善する迅速診断キットの開発と応用	茶野 徳宏	臨床検査医学講座	2,000	補 ⑤委	地域イノベーション創出総合支援事業平成20年度シーズ発掘試験
過大侵襲時における免疫修飾作用としての超短時間作用型β1遮断薬の心筋に対する効果	辻田 靖之	救急・集中治療部	1,400	補 ⑤委	文部科学省科学研究費補助金
バクテリアルトランスロケーションにおける神経原性炎症の役割	小泉 祐介	救急集中治療医学講座	1,900	補 ⑤委	文部科学省科学研究費補助金
力学的刺激による関節軟骨再生の試み	今井 晋二	リハビリテーション科	1,000	補 ⑤委	文部科学省科学研究費補助金
関節軟骨再生のための骨髄多機能幹細胞刺激装置の開発	今井 晋二	リハビリテーション科	2,500	補 ⑤委	(財)立石科学技術振興財団研究助成金
抗老化分子SIRT1による尿細管オートファジー改善を標的とした新たな食塩感受性高血圧治療戦略の構築	宇津 貴	血液浄化部	800	補 ⑤委	平成20年度ソルトサイエンス助成金
間接熱量測定による各種病態の必要エネルギー量の検討	佐々木 雅也	栄養治療部	1,000	補 ⑤委	日本静脈経腸栄養学会
小児の臨床研究推進に必要な人材育成と環境整備のための教育プログラム作成	中川 雅生	治験管理センター 小児科	15,350	補 ⑤委	厚生労働省科学研究費補助金
小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究	中川 雅生	治験管理センター 小児科	1,400	補 ⑤委	厚生労働省科学研究費補助金
冠動脈開口部の発生機序および心臓外に由来する細胞の役割解明	中川 雅生	治験管理センター 小児科	1,500	補 ⑤委	文部科学省科学研究費補助金
DNA・血液サンプルおよび臨床情報の収集	中川 雅生	治験管理センター	11,400	補 ⑤委	文部科学省研究振興局長
治療過程管理を導入した横紋筋肉腫に対する新しいグループスタディの展開	太田 茂	医師臨床教育センター	200	補 ⑤委	文部科学省科学研究費補助金

小計12

計 81

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circ J 72(1) 139-143 2008	Whole-body periodic acceleration enhances brachial endothelial function.	Matsumoto T et al.	循環器内科
J Cardiovasc Electrophysiol 19 794-799 2008	Age- and genotype-specific triggers for life-threatening arrhythmia in the enotyped long-QT syndrome.	Sakaguchi T et al.	循環器内科
Circ J 72(5) 694-699 2008	Mutation site dependent variability of cardiac events in LQT2 form of congenital long-QT syndrom.	Nagaoka I et al.	循環器内科
Circ Res 102(6) 737-745 2008	Tunnel propagation of postshock activations as a unified hypothesis for fibrillation induction and isoelectric window.	Ashihara T et al.	循環器内科
Circ J 72(5) 740-746 2008	Beneficial effect of perindopril on cardiac sympathetic nerve activity and brain natriuretic Peptide in patients with chronic heart failure.	Tsutamoto T et al.	循環器内科
Angiology 59 421-426 2008	Augmentation Index and Pulse Wave Velocity as Indicators of Cardiovascular Stiffness.	Nakae I et al.	循環器内科
Circ J 72(4) 611-617 2008	Prognostic Value of Normal Stress Myocardial Perfusion Imaging in Japanese Population.	Matsuo S et al.	循環器内科
Circ J 72(4) 563-568 2008	Impact of oxidative stress on plasma adiponectin in patients with chronic heart failure.	Tanaka T et al.	循環器内科
Eur J Heart Fail 10(4) 360-366 2008	Effect of atrial natriuretic peptide on adiponectin in patients with heart failure.	Tanaka T et al.	循環器内科
Ann Nucl Med 22 677-683 2008	Clinical significance of diastolic function as an indicator of myocardial ischemia assessed by 16-frame gated myocardial perfusion SPECT.	Nakae I et al.	循環器内科
J Pharmacol Sci 108 462-471 2008	Hydroxyzine, a First Generation H1-Receptor Antagonist, Inhibits Human Ether-a-go-go ? Related Gene (HERG) Current and Causes Syncope in Patient With the HERG Mutation.	Sakaguchi T et al.	循環器内科
Eur J Heart Fail 10(12) 1208-1214 2008	Transcardiac increase in norepinephrine and prognosis in patients with chronic heart failure.	Tsutamoto T et al.	循環器内科
Journal of Arrhythmia 24 195-199 2008	Genetic background of arrhythmogenic right ventricular dysplasia/Cardiomyopathy:Time to start asian registry !	Horie M et al.	循環器内科
Br J Pharmacol 156(2) 377-387 2009	Inhibitory actions of LY294002, a phosphatidylinositol 3-kinase inhibitor, on the human Kv1. 5 channel.	Wu J et al.	循環器内科

小計14

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Heart Rhythm 6(7) 1038-1046 2009	Adrenergic regulation of the rapid component of delayed rectifier K <sup>+</sup> current: Implications for arrhythmogenesis in LQT2 patients.	Zankov DP et al.	循環器内科
JACC(in press)	Aorto-Pulmonary Artery Dissection.	Itoh H et al.	循環器内科
Int J Cardiol (in press)	A Novel KCNH2 Mutation as a Modifier for Short QT Interval.	Itoh H et al.	循環器内科
J Asthma 45(4) 339-342 2008	Specialists play a vital role in general practitioner's prescription behavior -A Qualitative Study of Asthma Care in Japan-	Nishio C et al.	呼吸器内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol 28(12) 2173-2179 2008	In Vivo and in vitro inhibition of monocyte adhesion to endothelial cells and endothelial adhesion molecules by eicosapentaenoic acid.	Yamada H et al.	呼吸器内科
Dig Dis Sci 53(12) 3242-3245 2008	Chemoradiation therapy followed by endoscopic submucosal dissection for esophageal cancer.	Saito Y et al.	消化器内科
World J Gastroenterol 14(33) 5154-5161 2008	Mucosal cytokine network in inflammatory bowel disease.	Andoh A et al.	消化器内科
Am J Med Sci 335(6) 495-498 2008	A Case of Castleman's Disease Complicated With Nephrotic Syndrome Due to Glomerulopathy Mimicking Membranoproliferative Glomerulonephritis.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Intern Med 47(11) 1073-1074 2008	Thoracic cavernous malformations on T2*-weighted MR images.	Maeda K et al.	神経内科
Neurosci Lett 434(3) 266-272 2008	Isolation of specific peptides that home to dorsal root ganglion neurons in mice.	Oij et al.	神経内科 内分泌代謝内科
J Clin Endocrinol Metab 93(8) 3136-3141 2008	Replication of genome-wide association studies of type 2 diabetes susceptibility in Japan.	Horikawa Y et al.	内分泌代謝内科
Hypertens Res 31(6) 1171-1176 2008	Impact of renin-angiotensin system inhibition on microalbuminuria in type 2 diabetes: a post hoc analysis of the Shiga Microalbuminuria Reduction Trial (SMART).	Shiga Microalbuminuria Reduction Trial (SMART) Group et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Diabetes 57(3) 791-795 2008	Association of CDKAL1, IGF2BP2, CDKN2A/B, HHEX, SLC30A8, and KCNJ11 with susceptibility to type 2 diabetes in a Japanese population.	Omori S et al.	内分泌代謝内科
Rheumatol Int 28(12) 1283-1284 2008	Acute interstitial nephritis associated with etanercept.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Rheumatol Int 28(12) 1285-1286 2008	A case of post-streptococcal reactive arthritis and acute nephritis after bacterial endophthalmitis due to Streptococcus pyogenes.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
J Am Coll Cardiol 52(6) 417-424 2008	Marine-derived n-3 fatty acids and atherosclerosis in Japanese, Japanese-American, and white men: a cross-sectional study.	Sekikawa A et al.	内分泌代謝内科
Nat Genet 40(9) 1098- 1102 2008	SNPs in KCNQ1 are associated with susceptibility to type 2 diabetes in East Asian and European populations.	Unoki H et al.	内分泌代謝内科
Diabetes 57(10) 2644- 2651 2008	Muscle-specific IRS-1 Ser->Ala transgenic mice are protected from fat-induced insulin resistance in skeletal muscle.	Morino K et al.	内分泌代謝内科
Nat Genet 40(9) 1092- 1097 2008	Variants in KCNQ1 are associated with susceptibility to type 2 diabetes mellitus.	Yasuda K et al.	内分泌代謝内科
Diabetes Res Clin Pract 82 Suppl 1 S54- S58 2008	Clinical impact of reducing microalbuminuria in patients with type 2 diabetes mellitus.	Araki S et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Endocrinology 150(4) 1654-1661 2009	Transcription factor activating protein-2beta: a positive regulator of monocyte chemoattractant protein-1 gene expression.	Kondo M et al.	内分泌代謝内科
Biochem Biophys Res Commun 379(4) 861- 865 2009	Combined effect of oxidative stress-related gene polymorphisms on atherosclerosis.	Katakami N et al.	内分泌代謝内科
Atherosclerosis 205(2) 404-412 2009	Soy phosphatidylcholine inhibited TLR4-mediated MCP-1 expression in vascular cells.	Ishikado A et al.	内分泌代謝内科
Leukemia Lymphoma 49(4) 734-739 2008	Favourable outcomes in children with diffuse large B-cell lymphoma treated by a short-term All-like regimen: a report on the NHL960 study from the Japanese Childhood Cancer and Leukemia Study Group.	Tsurusawa M et al.	小児科
J Clin Endocrinol Metab 93 4261-4267 2008	Transient congenital hypothyroidism caused by biallelic mutations of the dual oxidase 2 gene in Japanese patients detected by a neonatal screening program.	Maruo Y et al.	小児科
Basic Clin Pharmacol Toxicol 103 131-136 2008	Effect of D256N and Y483D on propofol glucuronidation by human uridine 5'-diphosphate glucuronosyltransferase.	Takahashi H et al.	小児科
J Pediatr Gastroenterol Nutr 46 308-311 2008	Conformational change of UGT1A1 by a novel missense mutation(p.L131P) causing Crigler-Najjar syndrome type I.	Maruo Y et al.	小児科
J Child Neurol 24 275- 286 2009	Experimental neuronal migration disorders following the administration of ibotenate in hamsters: the role of the subventricular zone in the development of cortical dysplasia.	Sawai C et al.	小児科

小計14

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Genetics 74 288-290 2008	CDKL5 disruption by t(X;18) in a girl with West syndrome.	Nishimura A et al.	小児科
Congenital Anomalies 48 97-100 2008	Large congenital melanocytic nevi presenting with lissencephaly with an absent corpus callosum.	Takano T et al.	小児科
Br J Dermatol 158(2) 415-417 2008	Dermoid cyst with magnetic resonance image of sack-of-marbles.	Fujimoto N et al.	皮膚科
Contact Dermatitis 60(2) 110-113 2009	Photosensitivity with eosinophilia due to ambroxol and UVB.	Fujimoto N et al.	皮膚科
Skin Cancer 23(2) 175- 179 2008	粘液線維肉腫の1例	藤本 徳毅 他	皮膚科
Am J Surgery 195(6) 854-860 2008	Thoracoscopy-assisted magnetic resonance guided microwave coagulation therapy for hepatic tumors.	Shiomi H et al.	消化器外科 乳腺一般外科
Magn Reson Med Sci 7(3) 105-112 2008	Correlation between high field MR images and histopathological findings of rat transplanted cancer immediately after partial microwave coagulation.	Murakami K et al.	消化器外科 乳腺一般外科
IEICE Transactons on Information and Systems E91-D(1) 132-144 2008	Parzen-window based normalized mutual information for medical image registration.	Rui XU et al.	消化器外科 乳腺一般外科
Cancer Chemother Pharmacol 61(4) 587- 594 2008	Expression level of thymidylate synthase mRNA reflects 5-fluorouracil sensitivity with low dose and long duration in primary colorectal cancer.	Okumura K et al.	消化器外科 乳腺一般外科
肥満研究 14(2) 174- 179 2008	腹部外科手術の周術期における血中アディポネクチンの測定意義について	山本 寛 他	消化器外科 乳腺一般外科
胆と膵 Vol.29 臨時増 刊特大号・ 1127-1138 2008	MRI術中ナビゲーションによる肝癌治療	来見 良誠 他	消化器外科 乳腺一般外科
J Clin Invest 118(5) 1700-1711 2008	Antibody association with HER-2/new-targeted vaccine enhances CD8+ T cell responses in mice through Fc-mediated activation of DCs.	Peter S. Kim et al.	共同 消化器外科 乳腺一般外科
日本腹部救急医学会 雑誌 28(6) 809-812 2008	鈍的肝損傷および脾損傷に対する治療法の選択—手術・IVRの位置づけ—	仲 成幸 他	消化器外科 乳腺一般外科
日本臨牀・日本臨牀社 66 251-255 2008	CD-DST法の評価 胃癌—基礎臨床研究のアップデート—	内藤 弘之 他	消化器外科 乳腺一般外科

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
胸部外科 6(10) 834-835 2008	胸部外科の指針	鈴木 友彰 他	心臓血管外科
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 56(7) 324-329 2008	Early and midterm outcome after off-pump coronary artery bypass grafting in patients with poor left ventricular function compared with patients with normal function.	Suzuki T et al.	心臓血管外科
Ann Thorac Surg 85(6) 2130-2132 2008	Giant Coronary Artery Aneurysm in the Left Main Coronary Artery: A Novel Surgical Procedure.	Matsubayashi K et al.	心臓血管外科
Heart Surg Forum 11(4) E213-E217 2008	Early and Midterm Results of Off-Pump Coronary Artery Bypass Grafting without Patient Selection.	Suzuki T et al.	心臓血管外科
Internal Medicine 47 1605-1608 2008	Perforated Mitral Valve Aneurysm Associated with Libman-Sacks Endocarditis.	Tomoyuki T et al.	心臓血管外科
日本アフェレンス学会雑誌 28(2) 163-166 2009	進行再発肺がん・乳がんに対する腫瘍抗原MUC-1を標的とした樹状細胞ワクチン療法	寺本 晃治 他	呼吸器外科
Osteoarthritis Cartilage 16 1083-1091 2008	A novel exogenous concentration-gradient collagen scaffold augments full-thickness articular cartilage repair.	Mimura T et al.	整形外科
J Neurosurg Spine 9 488-492 2008	Percutaneous transthoracic fenestration of an intramedullary neurenteric cyst in the thoracic spine with intraoperative magnetic resonance image navigation and thoracoscopy. Case report.	Takahashi S et al.	整形外科
Arch Orthop Trauma Surg 129(9) 1279-1285 2008	The recovery of 5-HT transporter and 5-HT immunoreactivity in injured rat spinal cord.	Saruhashi Y et al.	整形外科
Cancer Sci 99 2170-2176 2008	Conditioned media from mouse osteosarcoma cells promote MC3T3-E1 cell proliferation using JAKs and P13-K/Akt signal crosstalk.	Mori K et al.	整形外科
Expert Rev Anticancer Ther 8 151-159 2008	Liposomal muramyl tripeptide phosphatidyl ethanolamine: a safe and effective agent against osteosarcoma pulmonary metastases.	Mori K et al.	整形外科
日本整形外科学会雑誌 82 885-894 2008	関節軟骨損傷の治療戦略	松末 吉隆	整形外科
最新整形外科学体系1 93-98 2008	関節軟骨	今井 晋二 他	整形外科
リウマチ科 40 535-538 2008	TNF阻害薬は強直性脊椎炎の進行を抑制するか？	森 幹士	整形外科

小計14

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
中外医学社 188-203 2008	前頭葉・側頭葉の脳動静脈奇形 脳神経外科エキスパート 前頭葉・側頭葉	野崎 和彦	脳神経外科
永井書店 474-482 2008	脳動静脈奇形 外科的摘出術と画像診断(Spetzler- Martin分類)見て診て学ぶ脳卒中の画像診断	野崎 和彦	脳神経外科
脳卒中の外科 36 421-426 2008	脳幹部海綿状血管腫に対する手術手技	高木 康志 他	脳神経外科
日本バイオレオロジー 学会誌 22 51-58 2008	脳動脈瘤の成因-実験的脳動脈瘤誘発動物モデルを用 いたその発生機序:NOを中心に-	福田 俊一 他	脳神経外科
Am J Rhinol Allergy 23(2) 197-199 2009	Endoscopic ligation of the sphenopalatine artery and the maxillary artery for the treatment of intractable posterior epistaxis.	Seno S	耳鼻咽喉科
Mol Reprod Dev 76(3) 270-277 2009	Functional assessment of centrosomes of spermatozoa and spermatids microinjected into rabbit oocytes.	Tachibana M et al.	母子・女性診療 科
Am J Reprod Immunol 60(6) 534-540 2008	Development of human Graffian follicles following transplantation of human ovarian tissue into NOD/SCID/gammacnull mice.	Terada Y et al.	母子・女性診療 科
Syst Biol Reprod Med 54(3) 135-142 2008	Assessing centrosomal function of infertile males using heterologous ICSI.	Yoshimoto-Kakoi T et al.	母子・女性診療 科
Asian J Androl 10(4) 561-568 2008	Intramanchette transport during primate spermiogenesis: expression of dynein, myosin Va, motor recruiter myosin Va, VIIa-Rab27a/b interacting protein, and Rab27b in the manchette during human and monkey spermiogenesis.	Hayasaka S et al.	母子・女性診療 科
Fertil Steril 90(4 Suppl) 1523-1527 2008	Selective accumulation of PpIX and photodynamic effect after aminolevulinic acid treatment of human adenomyosis xenografts in nude mice.	Suzuki-Kakisaka H et al.	母子・女性診療 科
Fertil Steril 90(4 Suppl) 1240-1242 2008	Uterine relaxation by sacral surface electrical stimulation on the day of embryo transfer.	Fujii O et al.	母子・女性診療 科
日本泌尿器科学会雑 誌 99(7) 733-736 2008	骨盤内を占拠するまで拡張した左巨大尿管に発生した尿 管癌の1例	牛田 博	泌尿器科
泌尿器科紀要 54(11) 749-752 2008	回腸新膀胱造設術後の尿道再発に対する虫垂利用自己 導尿管型尿路再変向術の経験	牛田 博	泌尿器科
Int J Oncol 32(1) 161- 169 2008	Role of alternative splicing of periostin in human bladder carcinogenesis.	CHUL JANG KIM	泌尿器科

小計14

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Jpn J Ophthalmol 52(2) 99-107 2008	Photodynamic therapy with verteporfin in Japanese patients with subfoveal choroidal neovascularization secondary to age-related macular degeneration (AMD):results of the Japanese AMD Trial (JAT) extension.	Ohji M	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 246(8) 1087-1095 2008	Fundus autofluorescence after full macular translocation surgery for myopic choroidal neovascularization.	Ohji M	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 246(10) 1379-1381 2008	Vascular endothelial growth factor in fellow eyes of eyes injected with intravitreal bevacizumab.	Sawada O	眼科
Jpn J Ophthalmol 52(4) 269-276 2008	Foveal anatomical status and surgical results in vitrectomy for myopic foveoschisis.	Ohji M	眼科
Ophthalmic Surg Lasers Imaging 40(2) 135-140 2009	Comparison of macular thickness between Cirrus HD-OCT and Stratus OCT.	Kakinoki M	眼科
眼科臨床紀要 2(3) 219-223 2009	滋賀医科大学附属病院における15年間の未熟児網膜症の検討	村木 早苗	眼科
日本ペインクリニック学会誌 15(3) 357 2008	MRスペクトロスコピー(MRS)を利用した幻肢痛の局所脳機能評価	岩下 成人 他	ペインクリニック科
日本ペインクリニック学会誌 15(3) 348 2008	脱出型椎間板ヘルニアに対する椎間板加圧注入療法後の治療効果とGd-MRI画像所見について	木田 英樹 他	ペインクリニック科
Eur J Radiol 67(3) 536-540 2008	Gelatin microspheres: initial clinical experience for the transcatheter arterial embolization.	Nitta N et al.	放射線科
Cardiovasc Intervent Radiol 31(2) 359-366 2008	Is the use of fullerene in photodynamic therapy effective for atherosclerosis?	Nitta N et al.	放射線科
Hepatol Res 38(10) 1050-1053 2008	Cisplatin-conjugated Gelpart: initial study in vitro.	Ohta S et al.	放射線科
Acad Radiol 15(12) 1505-1512 2008	Evaluation of computer-aided diagnosis(CAD) software for the detection of lung nodules on multidetector.	Hirose T et al.	放射線科
Radiat Med 26(10) 627-635 2008	Ultra-low-dose computed tomography system with a flat panel detector: assessment of radiation dose reduction and spatial and low contrast resolution.	Nagatani Y et al.	放射線科
AJR Am J Roentgenol 192(2) 408-416 2009	CT diagnosis of acute mesenteric ischemia from various causes.	Furukawa A et al.	放射線科

小計14



## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本口腔診断学会雑誌 21(2) 297-300 2008	上顎洞に発生した含菌性嚢胞に対して鼻内視鏡を用いて手術した1例	肥後 智樹 他	歯科口腔外科
日本口腔診断学会雑誌 22(1) 113-116 2009	暫間補綴にテンポラリーインプラントを使用した1例	肥後 智樹 他	歯科口腔外科
日本口腔インプラント学会雑誌 22(2) 136-140 2009	上顎洞内に迷入したインプラントを内視鏡下鼻内手術により摘出した1例	肥後 智樹 他	歯科口腔外科
病理と臨床 26(8) 823-832 2008	比較的稀あるいは今後注目すべき炎症性疾患 Collagenous colitis 日本人症例の特徴	松原 亜季子 他	病理部
Oncology Reports 21(1) 113-117 2009	Claudin expression in rectal well-differentiated endocrine neoplasms(carcinoid tumors).	Ishida M et al.	検査部
Dig Dis Sci 54(3) 614-620 2009	Re-evaluation of histogenesis of gastric carcinomas: a comparative istopathological study between Helicobacter pylori-negative and H. pylori-positive cases.	Kakiniki R et al.	検査部
Diagn Cytopathol 36(8) 576-580 2008	Cytological features of myxoid adrenocortical adenoma with a pseudoglandular component: a case report with differential diagnostic considerations.	Ishida M et al.	検査部
J Cutan Pathol 35(10) 926-930 2008	Immunohistochemical demonstration of D2-40 in basal cell carcinomas of the skin.	Ishida M et al.	検査部
臨床病理 56(6) 455-458 2008	顔面に生じた内分泌分化を示す皮膚原発粘液癌の一例	石田 光明 他	検査部
人工臓器 37(1) 52-55 2008	劇症肝不全と人工肝臓	江口 豊	救急集中治療医学講座
Crit Care Med 36(4 Suppl) S198-S203 2008	Pathophysiology of septic acute kidney injury: what do we really know?	Saotome T et al.	救急集中治療医学講座
日本アフェレンス学会雑誌 27(3) 211-215 2008	肝不全におけるPlasma Dia-Filtration(PDF)-Plasma Filtration with Dialysis-療法	江口 豊	救急集中治療医学講座
体液・代謝管理	急性期DIC診断基準の功罪	江口 豊	救急集中治療医学講座
Thromb Haemost 100(6) 1099-1105 2008	Clinical course and outcome of disseminated intravascular coagulation diagnosed by Japanese Association for Acute Medicine criteria.	Eguchi Y et al.	救急集中治療医学講座

小計14